

普及項目	増殖
漁業種類等	採藻
対象魚類	ヒジキ
対象海域	天草有明海

天草市有明町大島子地先におけるヒジキ増殖指導

天草広域本部水産課・阿部 慎一郎

【背景・目的】

天草市有明町大島子地先にある島子漁業協同組合は、令和元年度（2019年度）の熊本県漁業協同組合連合会の共販において、最もヒジキの出荷量の多かった組合である。組合では持続的な漁獲のため、平成28年度（2016年度）からヒジキ資源増殖の取り組みを行っていることから、増殖基盤及びスポアバッグの設置等の指導を行うことにより、ヒジキ資源の増加に寄与することを目的とした。

【普及の内容・特徴】

(1) 過年度に設置した増殖基盤及びスポアバッグの効果調査

日時：令和元年（2019年）5月17日

場所：天草市有明町大島子地先

参加者：島子漁業協同組合所属組合員5名、天草市2名、水産課1名

概要：平成28年度（2016年度）に設置した増殖基板及び平成30年度（2018年度）に設置したスポアバッグの効果を把握するため現地調査を行った結果、設置前には生育がみられなかった場所にヒジキの繁茂が確認されており、設置の効果が確認された。

(2) スポアバッグによる増殖

日時：令和元年（2019年）6月3日及び令和元年（2019年）6月4日

場所：天草市有明町大島子地先

参加者：島子漁業協同組合所属組合員6名、天草市2名、水産課1名

概要：過年度に設置した増殖基盤及びスポアバッグで効果が確認されたことから、ヒジキ資源の増加を促進させるため、2日間で200束のスポアバッグを地先に設置した。スポアバッグ作成時には、ヒジキの雌雄判別方法を説明し、1束あたり雄1株、雌19株となるよう指導した。

【成果・活用】

効果調査により、増殖基盤及びスポアバッグは、ヒジキの増殖方法として有効であることが確認された。今後、スポアバッグ作成方法の簡便化等を検討し、地先における取り組みの定着及び自立化を図りたい。



写真 大島子地先におけるヒジキ増殖の取り組み

a, b: 過年度に設置した基板及びスポアバッグの周辺への波及

c: スポアバッグ作成作業

d, e: スポアバッグの設置場所